

月/日	担当課(室)係名	電話	発表者名	その他資料配布先
8月17日(金)	兵庫県立歴史博物館 事業企画課	079-288-9011	次長 豊田幸雄 (事業企画課長 鈴木敬二)	県教育委員会記者クラブ 中播磨県民センター各報道機関



9月・10月のもよおしのご案内（9月）



開催日時	イベント	内容	会場	料金	受付期間・受付方法
7月7日(土) ～9月24日(月・振) 10:00～17:00 入館は16:30まで	兵庫県政150周年記念展示 「兵庫県の成り立ち —幕末～明治の世相—」	当館では今年度、兵庫県の成立150周年を記念し、兵庫県の成り立ちと近現代の様子を示す5つのテーマの展示を5期に分けて実施します。第2期は、兵庫県の成り立ちと変遷を、江戸から明治時代にかけての世相を表す資料を中心に紹介します。	兵庫県政 150周年記 念 展示室 (歴史工房)	無料	
7月14日(土) ～9月9日(日) 10:00～17:00 入館は16:30まで	特別展 「ふしげジオラマミュージアム —兵庫県立歴史博物館×海洋堂 フィギュアミュージアム黒壁—」	「ジオラマ」といえば、模型を使ってさまざまな情景を再現したものを指しますが、元来は絵や模型を別の世界のように錯覚させる見世物のことでした。そうした本来の「ジオラマ」を現在に受け継いでいるのが、日本を代表するフィギュアメーカー・海洋堂の創業者である宮脇修氏発案の「ボックス・ジオラマ」です。この展覧会では、海洋堂フィギュアミュージアム黒壁所蔵の「ボックス・ジオラマ」と、当館蔵「入江コレクション」の資料を通じて、「ジオラマ」の歴史をたどるとともに、その不思議な視覚世界へと観覧者をいざないます。	ギャラリー	一般1000円 大学生700円 高校生以下無料	
9月2日(日) 14:00～15:30	地域講演会② 「遺跡から見た三木合戦」 講師:金松 誠 氏 (三木市教育委員会 文化・スポーツ課主任)	「三木の干し殺し」と呼ばれる兵糧攻めで有名な三木合戦。干し殺しの舞台となった三木城や羽柴秀吉方が三木城攻略のために築いた付城などの遺跡を通して、その実態に迫ります。	ホール	300円 友の会会員無料	・当日受付 ・定員100名(先着順)
9月15日(土) 14:00～	れきはくロビーコンサート 出演:菅田 真弓(ピアノ)	新進の演奏者がパフォーマンスを披露します。午後のひととき、素敵なお色を聴きながら過ごしませんか。	ロビー	無料	
9月16日(日) 14:00～15:30	歴史講演会② 「本多忠政と姫路城下町」 講師:出口 隆一 氏 (前姫路市史編集委員)	池田氏の次に姫路に入部した本多忠政について、嫡子忠刻とその妻千姫との絡みも含めての姫路城内の整備、池田輝政が完成できなかった三左衛門堀建設にかわって船場川沿岸の整備に着手してさらに姫路城下を発展させたその業績を、史料・遺跡・エピソードなどを交えて探ります。	ホール	300円 友の会会員無料	・当日受付 ・定員100名(先着順)
9月17日(月・祝) 13:30～15:30	連続歴史講座② 「古文書入門(初心者専門コース)」 講師:堀田 浩之(当館学芸員)	まずは古い文字に慣れることから始めましょう。古文書を読むのではなく、親しむことを第一の目的とした入門講座です。	体験ルーム	無料	・事前申込 受付期間は8月15日(水)～8月29日(水) 申込方法は当館ホームページをご覧ください。 ・定員30名(申込多数の場合は抽選)
9月23日(日) 14:00～15:30	れきはくアカデミー③ 「ふろくの楽しみリターンズ」 講師:山田 加奈子(当館学芸員)	当館では、子ども雑誌を中心に、明治から平成までのふろくを展示した特別企画展「ふろくの楽しみ 明治～平成の子ども雑誌から」を、今年の1月から3月にかけて開催しました。その時に展示したふろくを紹介しながら、日本における雑誌ふろくの流れを見ていきます。	ホール	無料	・当日受付 ・定員100名(先着順)
9月23日(日) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	歴はく俱楽部 「シデ棒をつくろう」	シデ紙と竹で、ミニサイズのシデ棒をつくります。	ロビー	100円	・当日受付 受付時間は①11:30まで②14:30まで 小学校4年生以下のお子様は保護者同伴 ・定員午前・午後各25名(先着順)
9月24日(月・休日) 13:30～15:30	連続歴史講座② 「古文書入門(初心者専門コース)」 講師:堀田 浩之(当館学芸員)	まずは古い文字に慣れることから始めましょう。古文書を読むのではなく、親しむことを第一の目的とした入門講座です。	体験ルーム	無料	・事前申込 受付期間は8月15日(水)～8月29日(水) 申込方法は当館ホームページをご覧ください。 ・定員30名(申込多数の場合は抽選)
9月29日(土) 10:30～15:30	いきいきトライアル③ 「篆刻教室～印を彫る～」 講師:中澤 光昭 氏 (元公立高校長)	約4時間かけて、印を彫ります。素朴で楽しい「篆刻(てんこく)」、挑戦してみませんか。	体験ルーム	1000円 友の会会員600円	・事前申込 受付期間は8月29日(水)～9月12日(水) 申込方法は当館ホームページをご覧ください。 ・定員25名(申込多数の場合は抽選)

9月・10月のもよおしのご案内（10月）



開催日時	イベント	内容	会場	料金	受付期間・受付方法
10月2日(火) ～11月25日(日)	兵庫県政150周年記念展示 「スケッチでたどる近代兵庫のあゆみ」	当館では今年度、兵庫県の成立150周年を記念し、兵庫県の成り立ちと近現代の様子を示す5つのテーマの展示を5期に分けて実施します。第3期は、兵庫県内の近代建築等のスケッチ画の展示により、兵庫県の近代のあゆみを紹介します。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	
10月6日(土) ～11月25日(日)	特別展「ほろよい・ひょうご —酒と人の文化史—」	兵庫には酒造りにゆかりのある地域が多く、様々な人が「ひょうご」の酒の発展を支えてきました。特に、江戸時代には伊丹や灘地域の酒が「下り酒」として江戸で大人気となります。酒造家たちは様々な工夫を重ねながら酒を造り、飲み手もまた趣向をこらしてそれを味わいました。 本展では、江戸時代を中心にその歴史と文化について紹介するとともに、絵画や文学資料などを通じて、酒と人との関係を考えます。	ギャラリー	一般1000円 大学生700円 高校生以下無料	
10月17日(水) 8:00～18:30	友の会研修旅行 「舞鶴を訪ねる」	今回の研修旅行では、松尾寺、金剛院、引揚記念館、五老岳、田辺城跡を訪ねます。	舞鶴	未定	・事前申込 受付期間は9月10日(月)～9月22日(土) 往復はがきにて申込。 ・定員40名 会員のみ。申込多数の場合は抽選。
10月20日(土) 11:00～	特別展「ほろよい・ひょうご」 展示解説 解説:大黒 惠理(当館学芸員)	特別展「ほろよい・ひょうご」の担当学芸員が、展覧会の見どころを解説します。	ギャラリー	無料 特別展観覧料が必要	
10月21日(日) 14:00～15:30	特別展講演会 「江戸で人気の下り酒とその流通」 講師:大浦 和也 氏 (白鹿記念酒造博物館 学芸員)	兵庫県は、日本で最も日本酒を生産しており、その中心になっている地域が江戸時代以来の酒どころである灘五郷を擁する阪神地域になります。 江戸時代には、下り酒と呼ばれて人気を得ていました。 今回は、江戸時代を中心に清酒の生産から流通までを紹介致します。	ホール	無料	・当日受付 ・定員100名(先着順)
10月28日(日) 14:00～15:30	特別展講演会 「江戸時代の酒造りと元禄の酒復刻」 講師:秋田 耕治 氏 (小西酒造株式会社)	天文十九年(1550年)創業以来、460有余年の歴史をもつ清酒白雪の醸造元である小西家には、元禄時代から明治時代に至る酒造りを記録した「酒永代覚帳」(さけいたいおぼえちょう)四冊が残されています。 この一冊目の中から元禄時代の酒造記録と、伊丹に伝わる酒造技術書等をもとに、江戸下り酒を再現しました。 その再現の過程について、当時の資料を交えながらお話しいただきます。	ホール	無料	・当日受付 ・定員100名(先着順)
10月28日(日) 10:00～15:00	歴はく俱楽部 「けん玉をつくろう」	ペットボトルとがちゃ玉を利用してけん玉をつくります。	大手前公園 (ひめじ国際交流フェスティバル)	無料	・当日受付 小学校4年生以下の子様は保護者同伴 ・定員100名(先着順)